

規制のサンドボックス制度に関する特別決議（案）

2018年4月17日、生産性向上特別措置法案が衆議院で可決された。この法案は、新技術等実証を促進し革新的事業活動を支援することで生産性を向上させることを目的に、「規制のサンドボックス」を設け、主務大臣の認定を受けた事業者が規制法の適用を受けずに事業が行えるようにするものである。

しかし、規制のサンドボックスにおいて、対象事業に何ら限定を設けない場合、新技術という名の下に、人命を保護するような規制さえも潜脱して事業を行うことが可能となる点において問題がある。

また、新技術でも革新的事業活動でもない事業者が、単にスマートフォンのアプリを介して取引を促進しているなどの理由で、「新技術」や「革新的事業活動」などとされ、この法案による事業認定を受けて、自家用車で旅客運送をさせるようなライドシェア事業を行うことが可能となる。

道路運送法は旅客自動車運送について、人命保護のため厳格な安全規制を設けている。規制のサンドボックスにより、旅客運送事業で、単にスマホのアプリで利用者をマッチングすることを、事業認定することは、人命を守る安全規制を潜脱し、規制を遵守して適法に事業を行っている事業者との不公正な競争、過当競争を引き起こし、2016年1月に発生した軽井沢スキーバス転落事故のような悲劇を招くことは明らかである。

本日、われわれタクシー労働者は、白タク合法化に怒り、その合法化阻止の一点で結集し、2度目の集会を開いた。

本日結集したすべてのハイタク労働者は、規制のサンドボックスにおいて、ライドシェアが合法化されることがないように反対の運動を拡げていくことについて、意思統一する。安全破壊の「白タク」阻止の運動を、最後の最後まで闘い抜くことを決議する。

2018年5月23日

安全破壊の白タク合法化阻止！！
ハイタク労働者総決起集会